

秋のひと時、同志社大学で知的な時間を過ごしてみませんか！

シンポジウム

哲学とP2Mで拓く ソーシャル・イノベーションの地平

第36回 国際P2M学会 研究発表大会

【開催日】 2023年 **10/29** (日)

【開催校】 同志社大学今出川キャンパス 良心館 3F

【講演時間】 12:40~17:15 (予定) ※パネルディスカッションも含まれます

【開催形式】 会場と配信のハイブリッド

参加費無料

要予約

2023年度の国際 P2M 学会秋季研究発表大会では、春季大会に引き続き、持続可能な社会 (Sustainable Development) を取り上げます。持続可能な社会を実現するためには、ソーシャル・イノベーションの推進が鍵となります。ソーシャル・イノベーションとは、すべての人々にとって暮らしやすい社会を作り上げるために、これまでのアプローチでは解決できなかった問題に対して、新たな方法で革新的に課題を解決するとともに、その変革を社会全体に広げることです。また、P2Mとはプロジェクト&プログラムマネジメントのことで、様々な社会課題解決のための効果的なマネジメント手法です。今回のシンポジウムでは、「AI親友論」著者で哲学者・京都大学の出口康夫先生、「スタンフォード・ソーシャルイノベーション・レビュー日本版」編集長の中嶋愛先生をはじめ、地域活性化やローカルSDGsの専門家、環境省のご担当者なども参加されます。ぜひ、この機会に持続可能な社会やソーシャル・イノベーションについて語り合いませんか。（オンライン視聴も可能です）

同志社大学今出川キャンパス 良心館

〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入
京都市営地下鉄今出川駅1番出口すぐ

詳しくはこちら▶



アクセス

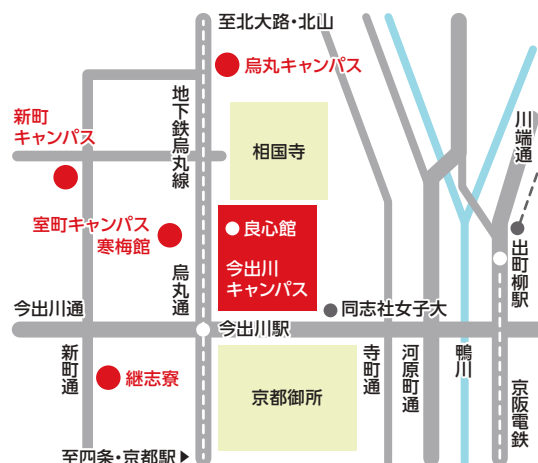
■ 阪急電鉄利用の場合

阪急京都線「烏丸駅」下車、地下鉄烏丸線に乗り換え「四条駅」から「今出川駅」下車徒歩1分

■ JR利用の場合

JR「京都駅」下車、地下鉄烏丸線に乗り換え「京都駅」から「今出川駅」下車徒歩1分

お申し込みは右記のQRコードより▶



〈主催〉一般社団法人 国際 P2M 学会 (TEL.03-6824-9371) 〈共催〉同志社大学 〈後援〉独立行政法人環境再生保全機構 〈協賛〉(五十音順):研究・イノベーション学会、(株)シテライフNEW

講演スケジュール、基調講演者、パネリストの紹介は裏面をご覧ください。



12:40～ 12:50	開会挨拶 開催校挨拶	国際P2M学会会長 亀山 秀雄氏 同志社大学
12:50～ 13:40	基調講演 1	<p>GX 時代における哲学、IからWEへ (仮題)</p> <p>哲学者、京都大学大学院文学研究科 教授 出口 康夫氏</p> <p>リアルとバーチャルなWE(人間関係・絆・共同体)の貧困化というWE問題に焦点を当て、逆にWEを再活性化するAI活用・DX化を探究。新著「AI親友論」</p>
13:40～ 14:30	基調講演 2	<p>ソーシャル イノ・ベーションの新潮流 (仮題)</p> <p>「スタンフォード・ソーシャルイノベーションレビュー日本版」編集長 同志社大学総合政策科学研究科ソーシャル・イノベーションコース 客員教授 中嶋 愛氏</p> <p>日本経済新聞社の記者、スタンフォード大学で修士号取得、プレジデント社で書籍の編集者を経て現職。同誌最新号では「コミュニティの声を聞く」を特集。</p>
14:30～ 15:00	特別講演	<p>SDGsとNPO活動のこれから</p> <p>同志社大学総合政策科学研究科ソーシャル・イノベーションコース 教授 中島 恵理氏</p> <p>環境省、長野県副知事等を経て現職。 現在住まいのある長野県富士見町にて子どもの居場所づくりや持続可能な地域づくり活動を実践中。</p>
15:15～ 17:15	パネル ディスカッション	<p>哲学と P2M で拓く ソーシャル・イノベーションの地平</p> <p>モデレータ 同志社大学総合政策科学研究科ソーシャル・イノベーションコース 教授 大和田 順子氏</p> <p>2002年、日本に「ロハス」を紹介。61歳で博士(事業構想学)を取得し、同志社大学教授に。シニア世代にソーシャル・イノベーションを広めている。</p> <p>パネリスト ※順不同</p> <p>出口 康夫氏 中嶋 愛氏</p> <p>地域再生マネージャー、地域活性化伝道師/イング総合計画代表 齋藤 俊幸氏</p> <p>地域活性化伝道師、地域力創造アドバイザー、地域再生マネージャーなど地方創生を支える外部人材の先駆的存在。66歳で博士(学術)を取得。</p> <p>環境省近畿地方環境事務所環境対策課長兼地域脱炭素創生室長 福嶋 慶三氏</p> <p>2002年、環境省入省、地球環境局に配属。現在は飛び出す公務員として、近畿地方を中心にローカルSDGsやカーボンニュートラルを広めている。</p> <p>国際P2M学会会長、独立行政法人環境再生保全機構(ERCA)社会実装支援コーディネーター 亀山 秀雄氏</p> <p>東京農工大学名誉教授。P2M学会会長としてプログラムマネジメント手法を社会人の共通知識として身に付けられるような人材教育支援に注力。</p>
17:15～ 17:25	閉会挨拶	国際 P2M 学会副会長 久保 裕史氏



大和田 順子氏

齋藤 俊幸氏

福嶋 慶三氏

亀山 秀雄氏

国際P2M学会とは

現代の世界は複雑な問題に直面し、人類の将来に不確実性や不協和を増加させています。私たちはこれらの問題解決のために専門領域を超え英知を結集し、全体最適、全体調和を目指して社会ニーズに応えなければなりません。本学会は、学者、研究者、実務家が集まり、理論と実践面から社会、行政、産業、学界のために新しい問題解決型の知識進化と体系化を目的に設立されました。私たちは新しい「仕組みづくり」を基調概念に据えて、革新的な価値創造と全体調和を同時に実現する思考や方法論を研究しています。実践分野では既に定着しているプロジェクトとプログラムの2つのPを統合した独創的なマネジメントの手法の開発・社会実装を目指しています。 学会ホームページ ▶ <http://www.iap2m.org/>

